

子供の未来応援国民運動について

平成28年12月9日

子供の貧困対策の強化と国民運動

子供の貧困対策は「未来への投資」との考えの下、取組を強化

教育の支援

幼児教育の段階的無償化
奨学金制度の充実
スクールソーシャルワーカー(学校における福祉の専門家)
やスクールカウンセラーの配置増
地域未来塾の拡充
生活困窮世帯の子どもへの学習支援 など

生活の支援

ひとり親家庭の子どもの生活・学習支援事業
(居場所づくり)
生活困窮者自立相談支援事業の実施 など

保護者に対する就労の支援

就職に有利な資格の取得支援(高等職業訓練促進給付
金や高等職業訓練促進資金貸付事業) など

経済的支援

児童扶養手当の多子加算部分の倍増
児童養護施設を退所後の進学、就職の支援
(自立支援資金貸付制度) など

子供の未来応援国民運動の展開

貧困の状況にある子供たちが抱える困難は実に様々であり、自覚がない、あるいは自覚があっても表に出さない子供たちも多く、行政の支援情報が届かない場合も多い。

子供の貧困対策を実効性あるものとして進めるためには、国、地方公共団体、民間の企業・団体の多様な関係者が連携して取り組むことが必要。

子供の未来応援国民運動の始動

- 平成25～26年
- ・ 子どもの貧困対策の推進に関する法律 成立（25年6月）、施行（26年1月）
 - ・ 子供の貧困対策に関する大綱 閣議決定（26年8月）

平成27年 4月 子供の未来応援国民運動 発起人集会



「子供の未来応援国民運動趣意書」を採択



10月 子供の未来応援国民運動 始動

- ・ ホームページの開設
(支援情報ポータルサイト、企業と団体の交流サイト)
- ・ 「子供の未来応援基金」への御寄付の受入れ開始
- ・ 発起人会議(10月19日)では、発起人一同により、各界各層へ基金への協力を呼びかけ



国民運動推進事務局による活動

- 平成28年4月の「桜を見る会」や迎賓館の一般公開に合わせて広報活動を実施



桜を見る会（新宿御苑）



迎賓館の一般公開

- フォーラムや国民大会などを開催
 - ・子供の未来応援国民大会in東京（平成28年4月）ほか大阪でも開催



加藤勝信大臣挨拶



日本生命保険の岡本岡衛代表取締役会長をはじめ、発起人にもご出席いただきました。



全国に支部を持つ多くの団体の皆様にお集りいただきました。

- シンボルマークとキャッチフレーズを公募により決定



- ・シンボルマーク最優秀作品（応募総数：142点）
栗田 野明（くりた のあ）さん（16歳）
- ・キャッチフレーズ最優秀作品（応募総数 282点）
堤 博文（つつみ ひろふみ）さん（39歳）
※年齢は決定当時

国民運動公式サイト・SNS

国民運動公式サイトでは、支援情報の一元的な検索や、企業と支援団体の交流、子供の未来応援基金についての情報提供等を行っている。

■公式サイトトップページ (Facebook, YouTubeにリンク)



■歴代担当大臣や、発起人、著名人からの応援メッセージを紹介



様々な方々からの御協力

ディック・ブルーナさん

(絵本作家、グラフィックデザイナー)

子供の未来応援国民運動のポスター等へのイラスト提供の御協力をいただいています。



谷村新司さん

(アーティスト)

谷村新司×地球劇場「DREAM SONG」のCD、DVD等の売上の一部を国民運動を通じて寄与いただいています。(平成28年3月～)



高橋ユウさん

(モデル、女優)

「子供の未来応援動画～支援活動紹介編～」へのナレーションで参加いただいたほか、子ども食堂にボランティアで参加いただきました。



大村智さん

(北里大学北里生命科学研究所特別名誉教授)

応援メッセージを寄せていただきました。視察でアフリカを訪れた際、貧しい環境下でも、子供たちが明るく好奇心に満ちていた様子から、「明るさと好奇心を持ち続けてほしい」とのメッセージをいただきました。(国民運動Facebookページ掲載)



子供の未来応援基金への寄付状況

【子供の未来応援基金への寄付総額（平成28年11月27日現在）】

| 寄付総額 | 寄付件数 | |
|----------------|--------|----------------------------|
| | うち法人 | うち個人 |
| 7億1,101万4,113円 | 2,510件 | 2,342件 (4億5,376万5,478円) |
| | | 168件 (2億5,724万8,635円) |

子供の未来応援基金には、27年10月の基金創設以降、企業・団体からの御寄付を150件以上いただいている。

継続的な御支援をいただく企業・団体も多く、ポスターやチラシの作成・配布など、子供たちの支援の輪を一緒に広げるための御協力もいただいている。

イベント等での募金への参加のほか、継続寄付（マンスリー寄付）をいただいている方も多くいる。

平成28年6月に、河野経夫様、敏子様御夫妻から4億円の御寄付をいただき、首相官邸において、御夫妻へ、安倍総理から感謝状が贈呈された。

古本を活用した御寄付の手法（こどものみらい古本募金）

- 読み終えた本などをお送りいただくと、株式会社バリューブックスによる買取金額（査定額）が、本を送られた方のお名前で「子供の未来応援基金」に全額寄付される仕組みを創設
- 詳しくは専用ホームページをご覧ください（<http://www.books-kodomonomirai.jp>）

・寄付の仕組み

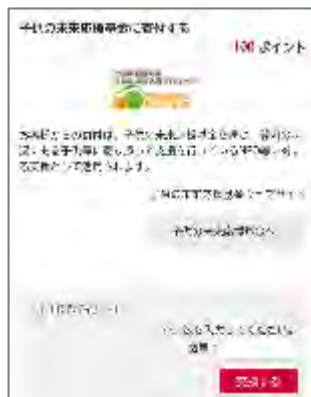


企業・団体からの御協力例



(株)NTTドコモ

ポイントプログラム「dポイントクラブ」の利用メニューに、子供の未来応援基金への寄付メニューを創設いただきました。(平成28年1月～)



CSR部長・川崎博子さんインタビューより

「次世代を育むことは、今を生きる私たちの世代の責任。子どもたちに温かい目配りがされ、支援に動く人が増えて、子どもたちの毎日の生活が安定し、将来に希望を持てるようになればと願っています」

(国民運動Facebookページに掲載)



(株)イトーヨーカ堂

イトーヨーカドー全185店舗の約6000台の会計レジに、平成28年3月～4月半ばまで募金活動を実施いただきました。

レジ募金開始に向けて、亀井淳社長と加藤大臣により、募金箱設置のセレモニーを実施しました。(平成28年2月26日)



平成28年2月26日キックオフセレモニー



店頭ポスター

企業・団体からの御協力例

㈱クオカード・㈱ポプラ社

基金への寄付付きのQUOカードの販売を通じて、ご支援をいただいています。カードデザインは「かいけつゾロリ」が起用されています。
(平成28年7月～)



日清食品ホールディングス㈱

従業員参加型のCSR活動(チャリティーウォーク)を通じてご寄付いただきました。(平成28年7月)



タマホーム㈱

全国の237店舗において、通年で募金箱とポスターを設置いただいています。
(平成28年6月～)



ANAホールディングス㈱

機内誌「翼の王国」(28年7月号)に記事を掲載していただきました。

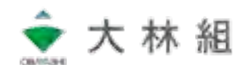
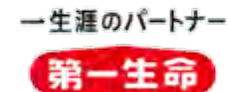


㈱ウイッシュボン

寄付付き商品としてお菓子「横濱みらい」を販売いただいています。
(平成28年10月～)



御支援いただいている企業・団体



御支援いただいている企業・団体(つづき)



上記は現在、国民運動HPに掲載させていただいている企業・団体様です。その他にもたくさんの企業・団体様から御支援をいただいています。

子供の未来応援基金による支援先団体の決定

<平成28年度未来応援ネットワーク事業について>

1. 28年度事業の内容

草の根で貧困の状況にある子供たちに寄り添った支援活動を行うNPO法人等を支援し、社会全体で子供の貧困対策を進める環境、応援ネットワークを構築



様々な困難を抱える子供たちに寄り添ったきめ細やかな支援を届ける

2. 申請～審査～採択まで

6月27日～7月29日に公募した結果、
535件（総額約18億3,997万円）の申請があった。

申請団体について、
計画性、 連携とその効果、
戦略的な広報、 継続性の観点
等から審査を行い、10月25日に**86団体**を採択することを決定。

支援総額は約3億1,500万円であり、1団体当たりの支援額は平均367万円となる。（事業類型別の整理は右のとおり）

採択結果（事業類型別）

| | |
|--------------------------|----|
| 様々な学びを支援する事業 | 28 |
| 居場所の提供・相談支援を行う事業 | 17 |
| 衣食住など生活の支援を行う事業 | 18 |
| 児童養護施設等の退所者を支援する事業 | 8 |
| 児童又はその保護者の就労を支援する事業 | 3 |
| 里親又は特別養子縁組の斡旋を実施又は支援する事業 | 1 |
| その他、貧困の連鎖の解消につながる事業 | 11 |

平成28年度未来応援ネットワーク事業採択団体一覧

| 団体名 | 所在地 | 団体名 | 所在地 | 団体名 | 所在地 | 団体名 | 所在地 |
|---------------------|-----|---------------------|------|---------------------|-----|------------------|------|
| Kacotam | 北海道 | くにたち地域コラボ | 東京都 | 全国フードバンク推進協議会 | 山梨県 | トイボックス | 大阪府 |
| フードバンク岩手 | 岩手県 | ここからプロジェクト | 東京都 | 育みの会 | 山梨県 | とよなかESDネットワーク | 大阪府 |
| もりおかユースポート | 岩手県 | 桜台こども食堂 | 東京都 | NPOホットライン信州 | 長野県 | 西淀川子どもセンター | 大阪府 |
| アスイク | 宮城県 | セカンドハーベスト・ジャパン | 東京都 | サステナブルネット | 静岡県 | 認定NPO法人D×P | 大阪府 |
| せんだいこども食堂 | 宮城県 | 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 | 東京都 | ブリッジハートセンター東海 | 静岡県 | 寝屋川市民たすけあいの会 | 大阪府 |
| 鶴が丘一丁目町内会 | 宮城県 | ソーシャル・アーティスト・ネットワーク | 東京都 | POPOLO | 静岡県 | ハートフレンド | 大阪府 |
| ロージーベル | 宮城県 | 育て上げネット | 東京都 | 子育て支援を考える会TOKOTOKO | 愛知県 | ヒューマンワークアソシエーション | 大阪府 |
| 亘理いちごっこ | 宮城県 | 地域教育ネット | 東京都 | こどもサポートネットあいち | 愛知県 | こどもサポートセンター | 兵庫県 |
| STORIA | 宮城県 | チャイルドライン支援センター | 東京都 | 再非行防止サポートセンター愛知 | 愛知県 | チャンス・フォー・チルドレン | 兵庫県 |
| TEDIC | 宮城県 | 稲門寺子屋西東京 | 東京都 | 全国こども福祉センター | 愛知県 | YCスタジオ | 島根県 |
| KAKE COMI | 福島県 | 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク | 東京都 | shining | 三重県 | 学校教育開発研究所 | 広島県 |
| ビーンズふくしま | 福島県 | ドリームタウン | 東京都 | Links | 滋賀県 | 「食べて語ろう会」 | 広島県 |
| ひたちNPOセンター・With You | 茨城県 | ピアサポートネットしづや | 東京都 | マキシマネットワーク | 京都府 | 山口せわやきネットワーク | 山口県 |
| 栃木県若年者支援機構 | 栃木県 | ブリッジフォースマイル | 東京都 | 山科醍醐こどものひろば | 京都府 | エデュケーションエキューブ | 福岡県 |
| とちぎボランティアネットワーク | 栃木県 | ほっこり家族 | 東京都 | あっとすくーる | 大阪府 | 長住団地自治会 | 福岡県 |
| ヤング・アシスト | 群馬県 | 学び塾「猫の足あと」 | 東京都 | eトコ・プロジェクト | 大阪府 | 抱樸 | 福岡県 |
| 青少年自助自立支援機構 | 埼玉県 | 鎌倉てらこや | 神奈川県 | 大阪里親連合会岸和田支部(どんぐり会) | 大阪府 | せかい卵 | 長崎県 |
| 生活困窮・ホームレス自立支援ガンバの会 | 千葉県 | 全国てらこやネットワーク | 神奈川県 | おおさか若者就労支援機構 | 大阪府 | らしくサポート | 宮崎県 |
| ダイバーシティ工房 | 千葉県 | 小さな森の学校 | 神奈川県 | キャリアブリッジ | 大阪府 | 鹿児島ボランティアバンク | 鹿児島県 |
| 葛飾区次世代育成支援団体ハーフタイム | 東京都 | パノラマ | 神奈川県 | 子どもセンターぬっく | 大阪府 | | |
| キッズドア | 東京都 | フェアスタートサポート | 神奈川県 | 子どもデザイン教室 | 大阪府 | | |
| 教育支援グローバル基金 | 東京都 | 六浦東・まち交流ステーション委員会 | 神奈川県 | こどもの里 | 大阪府 | | |
| | | | | 多文化共生センター大阪 | 大阪府 | | |

子供の未来応援国民運動 一周年の集い

平成28年11月8日(火)、総理官邸において、安倍総理及び加藤内閣特命担当大臣をはじめとする関係閣僚や、これまで国民運動に御協力いただいていた企業、子供の未来応援基金による支援先団体などが一堂に会し、「子供の未来応援国民運動 一周年の集い」を開催しました。

(集いの全体概要は内閣府HPに掲載<http://www8.cao.go.jp/kodomonohinkon/kokuminundou/tsudo.html>)

議事次第

- 1.日時 平成28年11月8日(火) 17:30～18:30
- 2.場所 総理官邸 2階大ホール
- 3.次第
 - (1) 内閣府特命担当大臣挨拶
 - (2) 発起人代表挨拶
 - (3) 国民運動推進事務局からの報告
 - (4) 企業代表に対する感謝状贈呈
 - (5) 基金により支援を受けるNPO等の活動報告
 - (6) 子供たちを支援する若者からの活動報告
 - (7) 内閣総理大臣挨拶
 - (8) 内閣総理大臣から子供たちへのメッセージ

集いでは、安倍総理が、子供たちへのメッセージを、支援の現場で活動している方々に託しました。

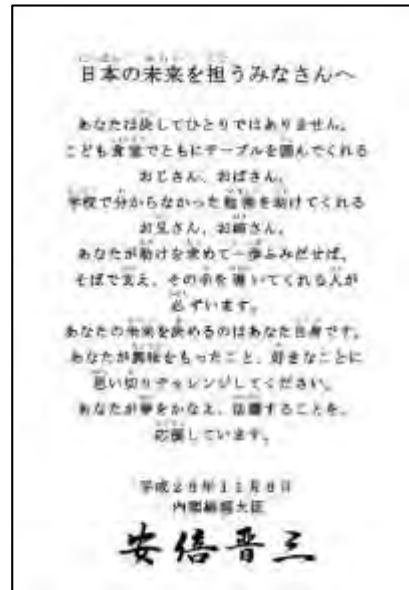
メッセージには、子供たちに寄り添って支援されている方々への敬意とともに、「周囲に支えてくれる人が必ずいる。好きなことに思い切りチャレンジしてほしい」という子供たちに向けたエールと、子供たちを応援するという強い決意が込められています。



挨拶をする安倍内閣総理大臣



国民運動発起人代表として挨拶をする
旭化成株式会社取締役会長 伊藤一郎様



子供たちへのメッセージを、支援の現場で活動している方々に託す安倍総理

(写真左) モデル・女優の高橋ユウさん
(写真右) 支援の現場で活動されている玉木絵梨さん、山田友樹さん